第 124 回東葛しぜん観察会

利根運河で春を満喫

西池 光（野田市）

日　時：2016 年 4 月 3 日（日）9 時 30 分～12 時 10 分　　天気：小雨～曇り
場　所：利根運河の土手～眺望の丘～東深井古墳公園
参加者：一般 26 名（内 子ども 1 名）、指導員 19 名＋協議会 1 名
担当指導員：渋谷・大木・西池

当日は朝から雨。参加者へ電話連絡をすると、皆さん「参加」という返事。参加者は 36 名受け付けたということだが、お断わりした人も多かった。利根運河は人気があり、いつも参加者が多い。準備運動を済ませて班で運河が見渡せるところに着く。土手沿いに薄ピンク色の帯がずうっと続き、土手の斜面には黄色の帯がやはりかなたまで続いている。1 年の内で運河が最もきれいな時季だと思う。水面には、留鳥のカルガモ・オオバンがゆったりと泳いでいる。少し行くと冬鳥のヒドリガモの群れに会う。サクラの木の方からシジュウカラやヒヨドリの鳴き声が聞こえる。河川敷ではキジが歩いている。時折、左岸からも右岸からもウグイスの声が聞こえる。かなり上手に鳴けるようになった。眺望の丘で利根運河の歴史などについて話し、色彩豊かな運河の眺めを楽しんだ。

サクラの木の下でひっそりと咲くカキドオシ、土手沿いにたくさん咲いているオオイヌノフグリ（この日は曇りのため閉じていた。）・ヒメオドリコソウ・ミチタネツケバナ・カントウタンポポなど、今を盛りに咲いている。クヌギの木を観察する。手頃の大きさなので、観察しやすい。ちょうど雄花が芽吹き、今盛んに大きくなろうとしているところだ。雄花の房がたくさんの小さな花の集合体であることがわかっただろうか。クヌギの木にたくさん芽吹いている雄花は、印象的だ。土手の斜面でコゴメイヌノフグリを観察する。これも天気のせいで閉じていた。もう少しでハコベに埋まりそう。水面近くをカワウが飛び、河川敷をツバメが飛び交っている。樋門の辺りでは、いつもは水鳥がたくさん見られるのだが、今日は 1 羽もいなかった。近くでカラスノエンドウがたくさん生えている。流れに沿って小さな花を見る。フラサバソウ・タチイヌノフグリ・スズメノエンドウ。

東深井古墳公園に入る。ウラシマソウを見つけ、参加者はさっと集まり写真を撮っている。コゲラの鳴き声を聞きながら進む。思いがけずシロハラを間近で発見！ よかった！ スプリング・エフェメラルの話をしたが、果たしてアマナは咲いているだろうか。心配しながら行くと、咲いているようだった。が、天気のせいで皆閉じていた。残念！開花しているアマナを見せたかった。コブシの冬芽で冬越しを皆さんで観察する。花の脇の小さな 1 枚の緑の葉について説明する。街路樹にメジロの巣！みんなでこんな人の近くに！と、びっくりする。予定より 5 分遅れて土手で解散した。

今回は、指導員の皆さんのご協力のおかげで、楽しかった、感動的だったなど、よい感想をいただいた。今後は、興味を上手に吸い上げる方法、参加者から離れてしまわないようにする工夫、参加者自身が「なぜ」「不思議」「すごい」などと感動できる観察会になるように、努力していかなくてはならないと思う。そして、観察会終了後には、自然て いいな～、すごいな～、また行ってみよう と思ってもらえるようにしたい。

クヌギの雄花やどんぐりの観察